

ガバナーメッセージ 1年を振り返って

国際ロータリー
第2660地区 ガバナー

立野 純三
(大阪RC)



昨年の7月から12月にかけて64ヶ所のクラブ例会と合同例会に訪問させていただき、本年6月にホームクラブである大阪ロータリークラブを最後に訪問して、81クラブすべての公式訪問を終えました。公式訪問を行うにあたり、前もってガバナー補佐の方々が各クラブを訪問してクラブの現状を把握して作成いただいた報告書と、各クラブの本年度事業計画書を読み込んで訪問しております。

各クラブでは例会前、約1時間ほどをクラブの会長、幹事、理事の方々とクラブの現状と問題点、そして地区の現状となぜ変革しなければならないか、どの様に変化させていくのか等を話し合いをさせていただきました。その際、クラブによっては大変失礼で厳しい事を申し上げてまいりました。

例えば、会員数が30名を切るクラブには、ぜひ合併を考えてもらいたいとお願いを致しましたが、残念なことに全てのクラブにお断りをされました。なぜ合併をお願いしたのか私の考えを申しますと、まずクラブ運営する上で財政が厳しい、ロータリー公式行事の参加・協力が難しい、会長・幹事経験者が多数おられ役職に就くのが2度目、3度目となり新鮮さがなく、活性化しなくなるのではと思ったからです。

合併をお断りされたクラブの理由としては、設立後の文化が違う、歴史が違うなどが多くありました。しかし、殆どどのクラブは創立当時から見ると明らかに会員数は半減している状態です。

経済的に良い時代には財政的に余裕があり、会員数においても大きな問題にならなかったのですが、今は非常に苦しい状況になっているのが現実です。一方で「山椒は小粒でもピリリと辛い」ではありませんが、規模が小さくても素晴らしい各種

の奉仕活動をされているクラブが当地区には多くあるということを知る事ができ感服致しました。

まず1つ目は、クラブの会員数は少数でも多くの方を地区委員会に出向させ、委員長や委員として活躍して自クラブの活性化に結び付けておられる事、2つ目は各種の寄付に対して非常に積極的に取り組んでおられる事、3つ目はロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用して海外・国内で見事な国際奉仕・社会奉仕活動を展開されている事、四つ目は青少年奉仕活動に取り組み交換留学生や地区に根差した青少年育成プログラムを実施して協力をされている事で、これほど積極的に各種の奉仕活動を行っておられることに驚いた次第です。

次に第2660地区の現状と改革についてです。私はガバナーエレクトの時に、地区予算を見て愕然としました。なぜなら、ここ数年赤字決算をしていたからです。そこで、私は本年度の予算計画を立てるときに、財務委員長、地区代表幹事に地区会員数に基づき収入予想を立て、それに見合った支出を各委員会にどのように配分すればいいのかを考えてもらいました。

そして、各地区委員会委員長、副委員長と面談をして各委員会事業(特に継承事業)が今の時代のニーズにあっていいのか、費用対効果はみあっているのか、十分に意見交換をさせていただくと同時に、現状の地区の懐具合を理解していただけるよう説明をしたうえで、半ば無理矢理に各委員会予算の削減に協力してもらい、地区事務所運営費を含めなんとか単年度黒字化にすることが出来ました。

次にIM再編成、ガバナー補佐選出方法に関する件についてです。なぜ私がIM再編成とガバナー補佐選出方法を変えなければならないと思った



のかと言いますと、IMの組によってロータリーデーの出席率が非常に違いがあり、盛り上がり方も全く違っていたからです。また、IMを担当されたクラブには輪番制でガバナー補佐を出していただきたいとお願いをしても「人材不足だ」と断られるクラブが出だした事をガバナーエレクトの時に聞くようになっていました。そして、IM1組からIM8組の中でIMのクラブ数やメンバー数のアンバランスが非常に顕著に表れてきました。

そこで地区戦略計画委員会で過去の資料等を元に2660地区をIM何組にするのがいいのか、その組数に対して最適なクラブ数は何組か、またどのようなクラブ編成が問題がないかなどを十分に時間をかけて話し合い結論をだしていただきました。数合わせではなく、あくまで新しい再編成によってIM組内に活気が出て親睦を深め、新しい出会いの中にビジネスが生まれる、そのようなことを期待できる変更が出来たのではないかと考えております。

新しいIM1組から4組には従来の地域に根差した絆を尊重しながら熟考を重ねた結果、市内クラブが加わることで新たな交流がはじまる編成となっております。IM5組、IM6組は市内クラブだけの編成となりますが、従来の市内クラブの編成とは異なるので、新たな交流が生まれることを望んでいます。

次にガバナー補佐制度の変更です。ガバナー補佐制度は2002年にスタートして数年後に今起こっている問題と同じことが生じていました。そこでガバナー補佐の選出は輪番制ではなく、IM組内の候補者(会長経験者)から有為な人材を登用するために「地区ガバナー指名委員会」で選出するものと規定されましたが、その後も変化することを好

まず、輪番制が継続して行われてきましたが、いま限界がきています。そこで以前に決定されていたIM毎に「ガバナー補佐選出委員会」を設けて推薦をもらい、最終的に「地区ガバナー指名委員会」で指名することにさせていただきました。

今回、IMの組数を8組から6組に再編成をしました。また、ガバナー補佐選出方法も変更をしましたが、だからと言って2660地区、IM、各クラブが今抱えている様々な問題がすぐに解決をしてよい結果がでるとは思えません。今回の変革は、それぞれの問題解決につながるひとつのきっかけを作ることができたのではないかと考えています。

この一年間、地区の各委員会には従来のやり方を踏襲せず、この事業は今の時代のニーズにあっているのか等を検討してくれるようにとお願いしてまいりました。今後、この考えが浸透していけば、徐々に地区に変化がおり活性化していくのではないかと考えています。

そして地区が活性化していけば、クラブにも少しずつ影響を与えることができ、変化していくのではないかと期待しています。

RIは今回の規定審議会で今まで以上に各クラブに裁量権を与えるようになりました。

ロータリーはクラブが主体です。その為にもクラブの将来を中長期で考える戦略計画委員会が非常に重要になってくると思います。会員増強・維持・活性化・親睦・奉仕を考え、時代にあった魅力あるクラブに変化する必要があると思われます。

最後に、私はこの一年間2660地区のロータリアンの皆様に支えて頂いたお蔭で、まがりなりにもガバナーの職を務めあげることが出来たことを心より感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。有難うございました。